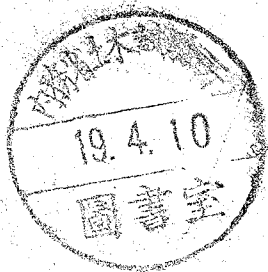


昭和十二年一月二十三日 第三種郵便物認
昭和十九年一月二十五日 印刷納本
昭和十九年二月一日 毎月一回一日發行 禁轉載

道路の改良

第二十六卷
第二號

社団法人
道路改良會



長

鋪裝報國

鋪

東京都淺草區花川戶一ノ一松屋ビル七階

日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

電話淺草(84)八三四一・八三四二・八三四三
東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

飛行場舗装
道路舗装

加熱式アスファルト
アスファルト乳劑
セメントコンクリート

アスファルト乳劑製造



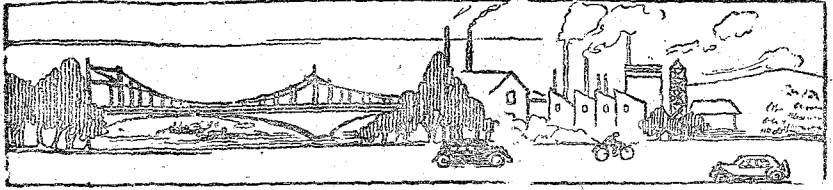
東京瀝材工業株式會社

本 社 東京都日本橋區吳服橋一丁目三番地
(三和ビル)

電話(日本橋) 二六六六番
五五一一番

東京工場 東京都江戸川區長島町五七〇五番地
電話(葛西)〇〇四〇番

鶴見工場 横濱市鶴見區市場町七七四番地



道路の改良 第二十六卷 第二號 目次

昭和十九年二月一日發行

卷頭言

研究

ニユーギニアの産業交通の概要——ラパルの全貌——……………H T 生(三)

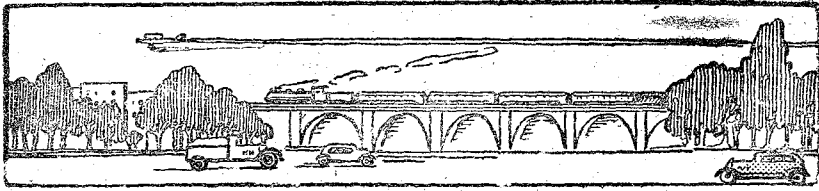
資料

軸方向壓縮力と曲げモーメントを受ける

鐵筋コンクリート矩形斷面の應力度算定係數表(二)……………日本大學工學部 助教 小野竹之助(二)

説苑

大東亞交通政策(中)……………華中鐵道會社々長 田 誠(一五)



ニュージランドの道路、自動車事情……………清野謙六郎(三)

道路愛護綴方募集に就て……………河村協(三)

法 令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例……………(二元)

通牒 戦時重要林産物輸送路整備ニ關スル件

雜 報

◎東條内閣總理大臣及重光外務大臣の演説◎道路と疎開との關係◎評議員の委囑

◎近刊圖書雜誌……………(二元)

編輯室の内外……………(三)

日本土木工學博士 會長 牧 長

彦七先生監修

特典附
新會員募集

實用土木講座

內務技監
鈴木雅次
前內務技監
谷口三郎
前內務省大阪
土木出張所長
佐藤利恭

初級 上級 共に完成!!

内容の一部
應用力学
鐵筋コンクリー
土木材料
河川工學
測量工學
砂防工學
水力發電
都市計畫
以上初級の一部

セメント系舗裝
農業土木
航空土木
高遠鐵道
土木地質學
應用電氣工學
土木工事監督
以上上級の一部

入會の絶好機
△初級一ヶ月三ヶ月
一ヶ月修了。會費毎月
一〇〇錢。送料
△上級一ヶ月一ヶ月
一ヶ月修了。會費毎月
一〇〇錢。送料
二〇〇錢何れも前納

内容見本申込次第送す

東京都麹町區飯田町二ノ十一
日本土木工學會
振替東京二〇八三四番

鐵道工學會長

八田嘉明先生監修

新會員募集

鐵道工學講座

會費一ヶ月二圓
五十錢全卷三〇圓
送料二五錢
內容見本
申込
急送

全十二卷內容概略

- | | | | |
|----|--------|------|-------|
| 1 | 鐵道地質 | 鐵道技師 | 廣田孝一 |
| 2 | 線路選定 | 鐵道技師 | 大木利彦 |
| 3 | 線路土工 | 廣部部長 | 西岡宏治 |
| 4 | 鐵道橋 | 教授 | 成瀬勝武 |
| 5 | 鐵道墜道 | 鐵道技師 | 佐藤周一郎 |
| 6 | 軌道構造保線 | 鐵道技師 | 川口祐康 |
| 7 | 信號保安設備 | 鐵道技師 | 藤原孝一 |
| 8 | 停車場 | 鐵道技師 | 岡田信次 |
| 9 | 都市鐵道 | 鐵道技師 | 山崎匡輔 |
| 10 | 鐵道車輛 | 鐵道技師 | 多賀祐重 |
| 11 | 初級電氣工學 | 鐵道技師 | 池田陽男 |
| 12 | 工事關係法規 | 鐵道技師 | 中島安一郎 |

東京都麹町區飯田町二ノ十一
鐵道工學會
振替東京五二二二七番

昭和十九年

道路の改良

二月一日

第二十二卷
第二號

天之生斯民也。不_レ能_レ極_ニ財成左右之宜。故以屬_ニ之天子。天子不_レ能_レ獨理_ニ也。故以屬_ニ之司牧。俾_ニ夫天民者得_レ遂_ニ其生。得_レ安_ニ其性。焉爾矣。とは牧民心鑑の序の劈頭に記する所である。爲政治家たる者の深く考慮熟思せざるべからざる文字である。

東條内閣總理大臣の演説中に「大東亞の戦局を大觀するに、敵の反攻は最近いよいよ熾烈執拗の度を加つて居る、而して彼等は衆知の如く大損害を反覆受けて居るにも拘らず、ひたすら物量を得んて逐次基地を進め又我が海上交通線に攻撃を加へ、運輸の上に侮るべからざる影響を及ぼして居るのである。此の深刻なる戦局に對應し我が第一線將兵は精戦に獲得せる戰略的優位を活用し、連綿不斷、勇戰奮闘、敵に甚大なる損害を與へて居るのである、特に最近ソロモン方面に於てギルバート方面に於て又支那方面に於て擧げつゝある赫赫たる大戦果は、正に戦史に未だ見ざる所である」と述べられて居るが正に然りである。剩さへ自由印度を積極的支援する爲めにビルマ方面に於て痛快極まる戦果を擧げつゝある。吾人は皇軍將兵の惡戰苦闘とも謂ふべき善謀勇戰の健闘に對し感謝の意を表し、忠烈なる戦歿の勇士に敬弔の誠をさしげ、傷病將兵には再起奉公の日の速かならんことを祈つて已まざるものである。

斯の如き第一線將兵の勇戰奮闘に對し銃後一億の國民は奮起したのである、否奮起せざるを得ない、學生は出陣し、徵兵適齡は低下し、動員の許、國民登録の年齢また低下し、いよゝゝ戦力増強、生産擴充に總力を擧ぐるに到つた、如何なる困難辛苦も之を克服して帝國の使命を完遂しなければならぬ、此の秋に當り食糧配給の基準量確保は絶対に保證せられ、衣料切符は改正せられんとし、國民の性を安じ得べき方策が示されたのである。

食糧は保證せられ、衣料は大幅に制限せられた、それはない袖は振れないと言へばそれまでであるが國民の自發的工夫を凝らすべきは勿論當局者に於ても創意と工夫と考慮とを費やされたきことを希望せざるを得ない、衣料に就て云へば假へば土木戰士即ち道路の新築改築及修理に従事する工夫の如き地下足袋の非常に不足し困難を極めて居り又普通人でも靴下の如き一年に二足丈で如何にして使用し得らるか死蔵の靴下は一足たりともあるべきものでない、尙又食糧に付ては一般的に量に於て不足し殊に代用食にすら其の品に不良あるも米の差別割合は加減せられない、元來粗食にても多量を喰ひならされたる吾人に取ては學究的考案よりも習慣的別致が必要で漸進的に減食するならば格別、急激に減食するは至難である。衣食足つて禮節を知ると云ふよりも衣食不足し道義墮落すと云ふこととなるなきか、配給上の缺陷か、國民公德の無視か、衣料食糧の偏重偏在は開取引の因となるのであらう。是非とも事の實情に照らして工夫考案されんことを希ふ。蓋し國民をして其の生を遂げしむるを得る途亦茲に存するであらう。(執民)